

この人、この組織

かえるんど・で・かえるんどー

～ヤング・スマイル・クラブ～

会 長：窪田 博子
事務局：古谷 幹夫

★クラブの名前の由来は？

名付け親は若い会員で、苦しいときも、悲しいときも、年齢を重ねても、「ヤング・スマイル精神」を忘れないという意味で名付けました。農業経営を男性だけに任せるのではなく、女性の立場から農業の改善・発展を図り、地域社会に貢献できたらとの思いを持っています。

★生ゴミ分解処理材「かえるんど」は、名前もユニークですね。

「かえるんど」は 農業の原点である「土づくり」の学習の中で生まれたもので、「土にかえる」という意味です。商品化後、県内外のJA婦人部や市民団体などから講師に招かれたり、視察を受け入れる中で、多くの交流が生まれ、農業問題だけでなく、四万十川の環境問題にも関心が深くなってきました。

また、堆肥をつくるだけでなく、「生ゴミの堆肥化リサイクル運動」を進めるためにも、役場や商工会、森林組合などに呼びかけ、「生ゴミ堆肥を利用した花いっぱい運動」に取り組んでいます。



★昨年2月に発足した「四万十川流域住民ネットワーク」にも加入するなど、活動の場が広がっていますが、これからの抱負は？

会員は年齢層も出身も異なりますが、常に活動は地元で根ざしたことをやろうと誓っています。今後は、ヨーロッパの農村生活や環境問題を学ぶ研修にも行こうと話合っています。

★農業も環境問題も、女性が鍵を握っています。四万十川上流の町から流域へ、全国への発信を期待しています。

一口メモ

ヤング・スマイル・クラブ

窪川町の農業女性グループ。平成元年12月発足。会員は現在16名。

堆肥の学習の中で「生ゴミのリサイクル」についての話を聞き流さずに、商品化の取り組みに育てたのは、女性ならではの目の付けどころ。

生ゴミ分解(堆肥化)処理材「かえるんど」はJA四万十堆肥センターで商品化され、発売中。

クラブ事務局 (JA四万十 農産課)
TEL: 08802-2-3586
FAX: 08802-2-0919

四万十情報

四万十川クリーン大作戦(窪川町)

昨年9月に来襲した台風は、30年振りの洪水をもたらし、兩岸の木々にはいたるところビニールの花。

四万十川上流の窪川町では、2月1日(日)早朝から、町内全集落から町民が出て、これらのゴミを取り除きました。手製の道具や川に舟を浮かべての3時間余りの汗の結晶…。地元はがんばってます！

四万十川流域では、毎年7月第4日曜日に1万人規模の「四万十川クリーン大作戦」を計画しています。全国の皆様の御参加をお待ちしています。